

科目名 (科目番号)	公衆衛生 看護活動論Ⅱ (076761)	教員名 鈴木悠圭 麻生保子 長堀智香子	学科等	看護	コース必修	履修年次	3
			曜日・時限等		時間割表参照	単位数	3
			オフィスアワー		水・3	鈴木研究室(A205)	
授業概要	公衆衛生看護活動の支援方法のうち、個人・家族を対象に個別援助の基本的な考え方、住民ニーズの捉え方、家庭訪問・健康相談の計画、実施、評価について具体的に学習する。また業務計画の中での優先順位・緊急度、訪問基準、訪問技術、カウンセリング技術、地域組織活動やグループ活動への援助等についても学習する。演習においては、乳幼児健診や特定保健指導での支援と、新生児訪問の演習をとおして保健師の行う家庭訪問の基礎的技術を習得する。 関係する垂直軸:看護、健康の状態、コミュニケーション、人間の理解						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	学習内容・到達目標				
	1	母子保健活動の実際 (家庭訪問)	到達目標:新生児家庭訪問の意義、計画、実施方法を説明することができる。 学習内容:新生児家庭訪問の目的、方法、技術について学習する。				
	2	演習	到達目標:新生児家庭訪問の実際、保健指導、評価方法を学習する。 学習内容:新生児家庭訪問の事例演習、記録作成を実施し、今後の支援計画を立案する。				
	3	母子保健活動の実際 (3・4か月児健診)	到達目標:3・4か月児健診の意義と保健師の役割を説明できる。 学習内容:3・4か月児健診の実施体制や方法、内容、観察ポイント、支援方法等について学習する。				
	4	演習	到達目標:3・4か月児健診の実際、保健指導、評価方法を学習する。 学習内容:3・4か月児健診の事例演習を通して、問診、計測、保健指導の一部を実施し、今後の支援計画を立案する。				
	5	母子保健活動の実際 (1歳6か月児健診)	到達目標:1歳6か月児健診の意義と保健師の役割を説明できる。 学習内容:1歳6か月児健診実施体制や方法、内容、観察ポイント、支援方法等について学習する。				
	6	演習	到達目標:1歳6か月児健診の実際、保健指導、評価方法を学習する。 学習内容:1歳6か月児健診の事例演習を通して、問診、計測、保健指導の一部を実施し、今後の支援計画を立案する。				
	7	母子保健活動の実際 (3歳児健診)	到達目標:3歳児健診の意義と保健師の役割を説明できる。 学習内容:3歳児健診の実施体制や方法、内容、観察ポイント、支援方法等について学習する。				
	8	演習	到達目標:3歳児健診の実際、保健指導、評価方法を学習する。 学習内容:3歳児健診の事例演習を通して、問診、計測、保健指導の一部を実施し、今後の支援計画を立案する。				
	9	母子保健活動の実際 (支援が必要な母子への対応)	到達目標:支援が必要な母子と支援方法を理解することができる。 学習内容:要支援となる可能性のあるリスク要因とその背景、個別支援方法や地域支援システム等について学習する。				
	10	演習	到達目標:支援が必要な母子へのアセスメントを行い、適切な支援方法、技術が理解できる。 学習内容:要支援事例の演習を通して、対象者の状況に応じた支援方法の計画・実施・評価の方法を学習する。				
	11	精神保健活動の実際	到達目標:地域で精神障害をもち生活する人への支援方法を理解することができる。 学習内容:精神障害者の現状や政策、特徴、支援に必要な技術や社会資源について学習する。				
	12	演習	到達目標:精神障害者の事例へのアセスメントを行い、適切な支援方法、技術が理解できる。 学習内容:精神障害者の事例演習を通して、対象者の状況に応じた支援方法の計画・実施・評価の方法を学習する。				
	13	高齢者保健指導の実際	到達目標:介護予防保健活動やその評価方法を理解できる。 学習内容:生活機能評価、介護予防保健活動の目的、特徴、方法について学習する。				
	14	演習	到達目標:シミュレーションとしての支援計画を立案し、評価するための記録方法を修得できる。 学習内容:介護予防の事例演習を通して、対象者の状況に応じた支援方法の計画・実施・評価の方法を学習する。				
15	感染症、難病保健活動の実際	到達目標:感染症、難病の現状と保健指導の方法を説明できる。 学習内容:感染症、難病の対策や課題、保健指導の目的、役割、方法について学習する。					

授業計画	16	演習	到達目標:シミュレーションとしての支援計画を立案し、評価するための記録方法を修得できる。 学習内容:対象者の状況に応じた支援方法の計画・実施・評価するための保健指導方法を学ぶ。
	17	健康教育・保健指導の基本と理論	到達目標:行動変容理論、カウンセリング、コーチングなどについて説明できる。 学習内容:健康教育や保健指導に関連した理論・モデルなどについて学習する。
	18	グループ活動の実際	到達目標:グループ活動の意義と発達過程、保健師の支援方法について説明できる。 学習内容:グループダイナミクスと、保健師活動としてのグループ支援について学習する。
	19	地域組織活動の実際	到達目標:地域の状況に応じた組織活動の発展過程について説明できる。 学習内容:地域組織活動の意義とプロセスについて学習する。
	21	成人保健指導の実際	到達目標:特定保健指導を基に、個人保健指導方法と地域単位でのアセスメントについて説明することができる。 学習内容:成人期の保健指導について目的、特徴、方法について学習する。
	22	演習	到達目標:個別生活習慣病ハイリスク者への、アセスメント、保健指導方法を習得する。また、地域を基盤とした受診状況と結果の読み取りと、支援対策の立案方法を習得する。 学習内容:特定保健指導を基に、成人保健指導方法と、地域単位での健康支援方法について学習する。
23			
成績評価の方法・基準	試験80%、演習の記録物20%		
教科書	①標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動「対象論で購入済」 ②標準保健師講座2 公衆衛生看護技術「活動論Ⅲで購入済」 ③国民衛生の動向 2019/2020	①松田 正己 ②中村 裕美子他	①医学書院 ②医学書院 ③厚生統計協会
参考図書	母子健康手帳		
教員からのメッセージ	地域で暮らす個人や家族への支援方法について、講義と演習を通して学んでいきます。日頃の他者との関わりを振り返りながら、支援者としてどのように対応していく必要があるのか、一緒に考えていきましょう。演習の記録物は、コメントを付して返却します。		